

株式会社ジェイコム日野

放送番組審議会 議事録

平成 28 年度（2016 年度）株式会社ジェイコム日野 番組審議会は、2017 年 3 月 16 日(木) ジェイコム日野局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

土方 尚功 様
中嶋 ヒロ子 様
谷 正幸 様
鷹取 百合子 様

ご欠席

大島 康二 様
山口 徹雄 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：土方会長

■「第 19 回ひの新撰組まつり 生中継」について

委員

過去に土方歳三役を務めたこともあり、「第 19 回ひの新撰組まつり 生中継」は懐かしさを持って拝見させて頂いた。生中継は非常に良い試みだと思う。

事業者

4 月最終週に全国放送枠の番組「ご当地サタデー ♪」に副市長をお招きしてイベントを PR して頂いている。さらに前日は東京都域放送枠「東京生テレビ」でも取り上げ、当日は生中継とプロモーション含めて大きく展開できた。

■「デイリーニュース」について

委員

JA(農協)日野の新たな支店が 9 月～完成する。地元野菜が食べられるレストランや学校給食用の集荷場が作られるので是非 取材してもらいたい。市外から人々を誘致することにつながるはず。

委員

日野の野菜は新鮮で長持ちするうえ、新宿から買いに来る方もいる。地元の PR として最適だろう。

事業者

「日野市産業まつり」で野菜が並ぶ姿は圧巻。日野市は学校給食でも積極的に地元野菜を使用しているので、農業への取り組みを番組で紹介していくべきだと感じた。

日野市はまだまだ人口が増加傾向にあるため、新しく入ってくる方に日野市の産業を伝えていくのも地域メディアの役割だと思う。

委員

最近では立川の人口を上回るなど転入者も増えているので、「住む街」としての日野市も積極的に広めていって欲しい。

事業者

番組を通じて、街に暮らす方だけでなく東京全体に日野市の魅力を発信していきたい。

■「J:COM カップ サッカー & 野球」について

委員

地元の子供たちも「TV に出た」といった動機がないと視聴に結びつかないので、こうした番組は非常に良い取り組みだと思う。

事業者

TV に映ることで子供たちが喜んでくれるうえ、その感動がスポーツを続ける原動力にもなっている。子供たちの喜びが番組づくりの大きなファクターであり、今後もサッカーや野球など地域のスポーツ大会を取り上げていきたい。

■編成方針に関して

委員

気づいたら放送が終わっていて見逃してしまうことも多かったが、最近は足を使ったきめ細かなプロモーションをされていると感じている。

事業者

いつ放送するか知ってもらうことが重要なので、取材先や生放送の現場に赴いてチラシを配布している。「東京都公立高校入試速報」放送の際は教育委員会の許可を得て市内の全中学校を回らせて頂いた。その結果、日野市の視聴数は他市の倍近くとなった。

事業者

せっかく作っても、見て頂かないと番組の評価は出てこない。少しでも多くの方に視聴して頂けるように組織内の連携も含めた施策を探っているところだ。

事業者

我々のサービスは日野市民からお金を頂いて成り立っている。今後も良い番組や事業を市民のために続けていきたい。2018年に4K放送、その先には8K放送と課題もあるが、J:COM全体として取り組んでいく。

以上